

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市政記者クラブ

令和4年12月14日同時配布



令和4年12月14日
国土技術政策総合研究所

国総研資料第1226号『既存港湾施設の点検・補修・利用制限等の判断に資する情報提供システムの開発及び改良～点検診断結果から保有性能評価・劣化予測・類似施設の情報提供等を行う評価ツールについて～』を刊行します！

本資料は、既存港湾施設の点検・補修・利用制限等の判断に資する情報提供システムの開発及び改良概要を、港湾管理者へのヒアリング調査と共に整理したものである。また、この情報提供システムを開発等した際、港湾施設の今後50年間で必要となるライフサイクルコスト(LCC)を算出し、情報提供システムにそのLCC情報を提供する、港湾構造物LCC計算プログラムも改良した。そこで、このLCC計算プログラムの改良概要も、プログラム利用実態調査と共に併せて整理した。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 既存港湾施設の点検・補修・利用制限等の判断に資する情報提供システムの開発及び改良
- 第3章 港湾構造物LCC計算プログラムの改良
- 第4章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL : <https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1226.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室

主任研究官 坂田 憲治 (内線 3351)

TEL : 046-844-5019 FAX : 046-842-9265 E-mail : ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp